

臨床研究に関する公開情報

京都市立病院リハビリテーション科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画書・研究方法についての情報利用について知りたい場合、患者さん自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の患者さんの個人情報等はお答え出来ない内容もありますのでご了承ください。

1. 研究課題名

脊椎固定が人工股関節全置換術後の生活の質に与える影響について

2. 研究責任者

リハビリテーション科部長 多田 弘史

3. 研究担当者

リハビリテーション科 徳安寛之

4. 研究について

目的：人工股関節全置換術（THA）は変形性股関節症に対する日常生活動作の改善を目的とした有効な治療法である。しかし近年高齢化に伴い脊椎固定を併存する患者数が増加しており、THA 術後の生活の質（QOL）低下に影響を及ぼすことが危惧されている。しかし脊椎固定の有無や固定範囲が THA 術後の QOL 低下に与える影響について一定の見解が得られておらず、不明なままである。そこで本研究は脊椎固定の有無やその固定範囲が THA 術後の QOL に与える影響について患者立脚型股関節疾患評価尺度である JHEQ や単純 X 線画像を用いた股関節可動域を主要アウトカムとして群間比較して検討することを目的とする。

対象：2010 年 1 月－2020 年 10 月の期間に当院で人工股関節置換術（片側又は両側）を施行され、手術前または手術後に脊椎固定術を施行された 40 例

研究期間：当院倫理委員会承認より 1 年間

取り扱う情報：

診療記録、リハビリテーション科記録、検査結果、写真等

個人情報取り扱い：

患者データは研究担当者が責任を持って匿名化し、個人情報保護に十分配慮して管理を行いません。診療情報は当院でのみ利用します。

5. 有害事象および患者負担

患者さんへの直接的な介入や侵襲はありませんので有害事象は起こりません。また費用負担もありません。

研究へのデータ提供による利益・不利益は特にありません。また、研究への参加・不参加による利益・不利益はありません。

6. 利益相反

開示すべき利益相反はありません。

今回集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、随時下記連絡先までご連絡ください。取りやめを希望した時点で、すでに研究成果が公表されていた場合は破棄出来ない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

本研究に関する質問・問い合わせ先

リハビリテーション科 徳安 寛之（代表 075-311-5311）

研究機関情報

研究機関名：京都市立病院

研究責任者：リハビリテーション科部長 多田 弘史

研究担当者：リハビリテーション科 徳安 寛之

電話 075-311-5311